



小暮ひろし市議会報告

新政佐野 小暮博志

〒327-0824 佐野市馬門町1597番地
TEL・FAX 0283-23-8263
E-mail kogurehi@sctv.jp

紙面

平成21年第5回 臨時議会(7月17日)
国土交通省 陳情(7月29日)
市議会議長会 研修会(7月30日)

平成21年第2回広域消防組合 定例議会(8月6日)
平成21年第6回 9月定例議会(4日~29日)
ご連絡

第5回 臨時議会(7月17日)

第5回 臨時議会では、平成20年度(株)どまんなかたぬまの経営状況を説明する書類について等の報告及び平成21年度佐野市一般会計補正予算が示され、可決されました。

(株)どまんなかたぬまは、佐野市が株式の81.4%を所有し、市長が代表取締役会長になっています。平成20年度の売上高は約12億円(前年比108.2%)で、営業利益も3.8%となっていました。平成21年度も、お客様に「美味さ楽しさ」を提供していくとのことでした。

一般会計補正予算は、約9億円の追加に関するものです。歳入は、国の地域活性化・経済危機対策臨時交付金等の約8.4億円と、市の財政調整基金からの繰入金約0.6億円です。主な歳出は、小中学校パソコン整備関係約5.4億円、消防庁舎耐震診断及び補強工事・化学消防ポンプ自動車更新約1.4億円、(仮称)まちなか活性化ビル改修約1億円等でした。

議案に対し、2名から質疑がありました。小暮ひろしは、市債が約36億円(対予算比約9%)ある現状を踏まえ、なぜ財政調整基金を取り崩してまでお金を使うのか、質問しました。答弁は、国からの交付金を100%有効に活用するためとのことでした。

国土交通省 陳情(7月29日)

三杉川改修促進期成同盟会の一役員として、初めて要望書を持参し、関東地方整備局から国土交通省へ、陳情に同行して来ました。

三杉川改修事業は、昭和50年に着手以来継続事業として約35年間進められ、陳情も行なわれて来ました。この事業も完成の目鼻が立ったことから、この同盟も解散終了となります。先人の方々には、大変ご苦労様でした。この間、三杉川の拡幅工事が行なわれ、排水機場の改修も進みました。その結果、佐野市における洪水被害の防止に多大な効果を発揮しております。

なお、今回の陳情には、期成同盟の竹澤会長ほか関係者8名、岡部佐野市長、栃木県・佐野市・藤岡町・岩舟町の関係職員の計21名で参りました。関東地方整備局では、会議室に全員入り、会長と市長が説明して要望書を渡しました。国土交通省では、事務次官、技監、審議官、河川局の次長や課長さんの元に赴き、会長と市長が説明して要望書を渡して来ました。陳情は、会長と市長の他に3~4名が面会して行いました。

(感想) 私は、初めて陳情に参加しましたが、関係部署も多く、今までの先人の方々のご苦労を実感することができました。実際に、部屋で面会できる人は5人位であり、陳情に行く人もすこし少なく良いと思いました。

市議会議長会 研修会(7月30日)

これは、栃木県の市議会議長会が持回りで、市議会議員の研修会を行なっているものです。今回は、NHK学園「イキイキ話し方教室」講師の村松真貴子さんの、「笑顔あふれる地域づくりのために」でした。

話すときは、表情が最も大切で、次に口調、それから言葉とすることでした。そして、笑顔で話すとも声も明るくなり、聞く方も気持ち良くなる。又、人前で話すとき、緊張しないコツとして、次の3つを心がけると良いとのことでした。私には、大変参考になりました。

- ① 第一声をゆっくり はっきり 大きな声で
- ② 緊張してしまったら ひと言だけ言い訳を
- ③ 全員を見て話すように(視線のキャッチボール)

又、子ども達の心と体を育むために、という話があり、次の3つを心がけるとともに、「早寝早起朝ごはんが良い」ということでした。「早寝早起朝ごはん」は、佐野市教育委員会でも推奨していることです。なぜこの様な子と成績の良い子とに関係があるのかを考えてみますと、この様な子は「早起きで心構えができており、朝ごはんを食べて肉体的にも頑張れる」ためだと思います。

- ① テレビに子守させない
- ② 食事の大切さを教えよう
- ③ 大勢の友達と外で遊ぶことが大切

最後に「調音の練習」をしました。皆さんもお試し下さい。

・瓜うりう売りが瓜のこ売りにきて瓜かえ売り残し、売り売り帰る瓜こえ売りの声
・おあや綾や親おやにお謝りなさい

・蛙かえるびよこびよこ、三みびよこびよこ、合あわせてびよこびよこ、六むびよこびよこ

第2回広域消防組合 定例議会(8月6日)

第2回 広域消防組合定例議会では、平成20年度佐野地区広域消防組合一般会計決算、平成21年度補正予算等が示され、いずれも承認されました。

平成20年度一般会計の歳入は17.4億円で、主な歳入は、佐野市分担金12.7億円、岩舟町分担金1.6億円です。主な歳出は、給与・職員手当が9.8億円と全体の56%になっております。

活動状況をみますと、火災件数は67件で、前年に比べ21件減少しております。救急出動件数は、4,398件(2時間に約1回)となっております。

平成21年度補正予算として約1.6億円が示されました。内容としては、消防庁舎の耐震工事約0.9億円、化学ポンプ車購入費約0.7億円のためです。

議案に対し、2名から質疑がありました。

小暮ひろしは、以下の3点について質疑いたしました。

- (1) 平成20年の火災発生件数が24%と大幅に減少していますが、その理由？
(答弁) 巡回等の消防活動の成果によります。
- (2) 平成20年度決算において、当初予算額約15.1億円に対して、約2.4億円(16%)多い決算になった理由？
(答弁) 東分署庁舎建設の繰越事業費及び財政調整積立金積立て等の発生。
- (3) 平成20年度に、消防施設整備事業の債権約1.7億円を発行しているが、この様な債権が他にあるのか？
(答弁) 全部で9件あり、合計で5.78億円。

第6回 9月定例議会(4日～29日)

第6回9月定例議会では、平成20年度一般会計及び特別会計決算、平成21年度補正予算等の案件が示された。一般質問の終了後に、決算に対しては決算審査特別委員会で慎重審査され、補正予算に対しては総務・厚生・経済文教・建設の各常任委員会で慎重に審査されました。本会議において、平成20年度の決算は賛成多数で認定、平成21年度補正予算は全員賛成で可決されました。

次に、一般質問ですが、以下の議員15名が順番に市政の内容について質問を行いました。

一般質問(9月8日)：

1番目 飯田昌弘 2番目 鈴木靖宏 3番目 義本美智江
4番目 **小暮博志** 5番目 若田部治彦

一般質問(9月9日)：

6番目 内田清美 7番目 鶴見義明 8番目 青木栄吉
9番目 岡村恵子 10番目 荒居 聰

一般質問(9月10日)：

11番目 井川克彦 12番目 寺内富士夫 13番目 藤倉義雄
14番目 春山敏明 15番目 本郷淳一

一般質問件数は50件ありました。大きく分類してみると見ますと以下の様になっておりました。景気低迷のおり、衆議院議員選挙の公約でも取上げられていた、子育て支援、医療制度、年金制度に関係した一般質問の内容が多く見られました。

- | | |
|--------------------------|-----|
| (1) 子育て、教育関係 | 18% |
| (2) 医療制度、国民年金、国民健康保険関係 | 16% |
| (3) 市民病院、インフルエンザ対策、医療関係 | 16% |
| (4) 市の財政、経済活性化関係 | 14% |
| (5) 環境保全、地球温暖化防止、安全・安心関係 | 12% |
| (6) 北関東道路、市営バス関係 | 2% |
| (7) その他 | 22% |

*** 小暮ひろしの一般質問 ***

1 さのし都市計画における拠点構想について

佐野市は、持続的な発展を支えるため、様々な都市機能が集積し、それぞれが有機的に連携・支援され、利便性の高い交通環境を有する拠点を形成するとしています。そして、次の4つの「都市拠点」の目標を示している。

佐野市中心市街地拠点：「まちなか居住・交通拠点」として活性化を図る。

田沼地域市街地拠点：「地域安心生活拠点」として再生を図る。

葛生地域市街地拠点：「地域生活・観光拠点」を形成。



佐野新都市拠点：「広域商業・学術拠点」として機能強化を図る。

私の質問内容は、佐野市として持続的な発展を実現するために、拠点構想を持っていることは分りましたので、もう少し具体的な計画や内容等についてお聞きしました。

おりしも、青森県八戸市では、『中心街活性化』を進めているとのことなので、7月2日(木)に、私の所属している新政佐野の議員7名は視察に行き参りました。

八戸市は、平成17年3月31日、南郷村と合併して誕生した市で、現在人口は約25万人です。今回視察の目的とした八戸市は、観光面では、ウミネコの繁殖地として有名な蕪島や、日本一の山車まつりといわれる「八戸三社大祭」など、魅力ある観光資源のある市がどのような市街地活性化を図っているのか、視察することになりました。

八戸市の基本計画は、次の5つの基本方針のもと、3つの目標を定めて活動をしていました。方針は、『はちのへの文化交流のメッカをつくる』、『まちなかの見どころ・もてなしを充実する』、『魅力ある店々が連なる回遊空間を創出する』、『まちなかに来やすくする』そして『暮らしやすい住まい環境を整える』です。具体的な3つの目標は、「来街者を増やす」、「定住を促進する」及び「商店街の活力を回復」することです。委員は37名で、期間は概ね5年間で、予算は60～70億円とのことでした。市の専従者は4人とのことでした。

(答弁) マスタープランは将来の方向を示しており、個々の計画は別に作成しているとのことでした。

(感想) さのし都市計画に沿って、個々の計画が立てられるものであると考えており、今後とも注視して行きたいと思っております。

2 第4期介護保険事業計画に関して

佐野市においては、平成20年の65歳以上の高齢化率は22.9%で、28,795人になっている。65歳以上の高齢者が支払う介護保険料は、4月24日の下野新聞で報道されたように、佐野市が県内最高で平均の月額が4,200円でした。保険料にも注視しながら、遂行することを要望しました。

ご連絡

9月の定例議会が終了しましたので、6月の定例議会後のことをまとめてみました。読んで頂けたらありがたいと思います。

議会報告の送付依頼や中止のお願いがありましたら、ご一報下さい。又、ご意見やお願い等がありましたら、何なりとご連絡下さい。宜しくお願い致します。